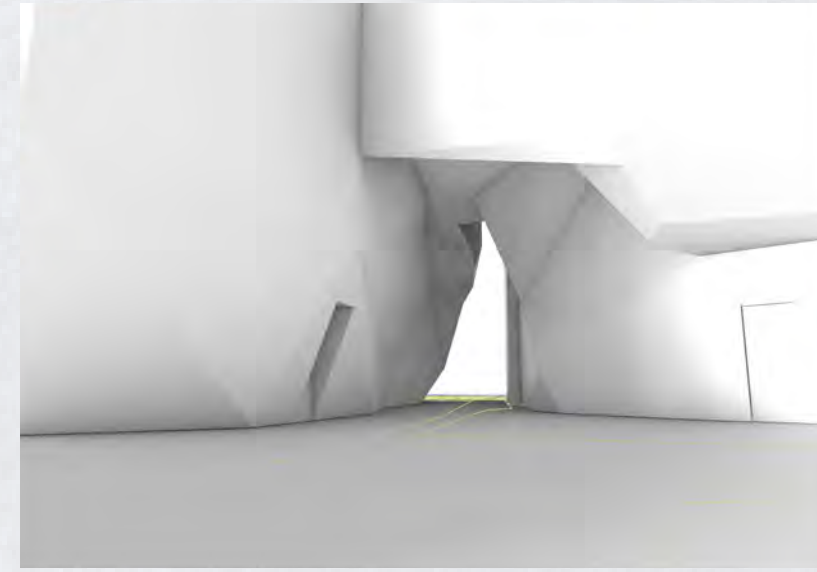


原宿から渋谷に向かう二つの流れ。
一つはかつてあった旧渋谷川の流れ。
もう一つは人の流れ。
この遊歩道沿いに、人の流れに沿って形作られた
二つの建築が立つ。
これらの離れた二つの（原宿側・渋谷側）建築
の造形の複雑さに、記号化されない原宿と渋谷
それぞれの文化の混雑さが現れている。



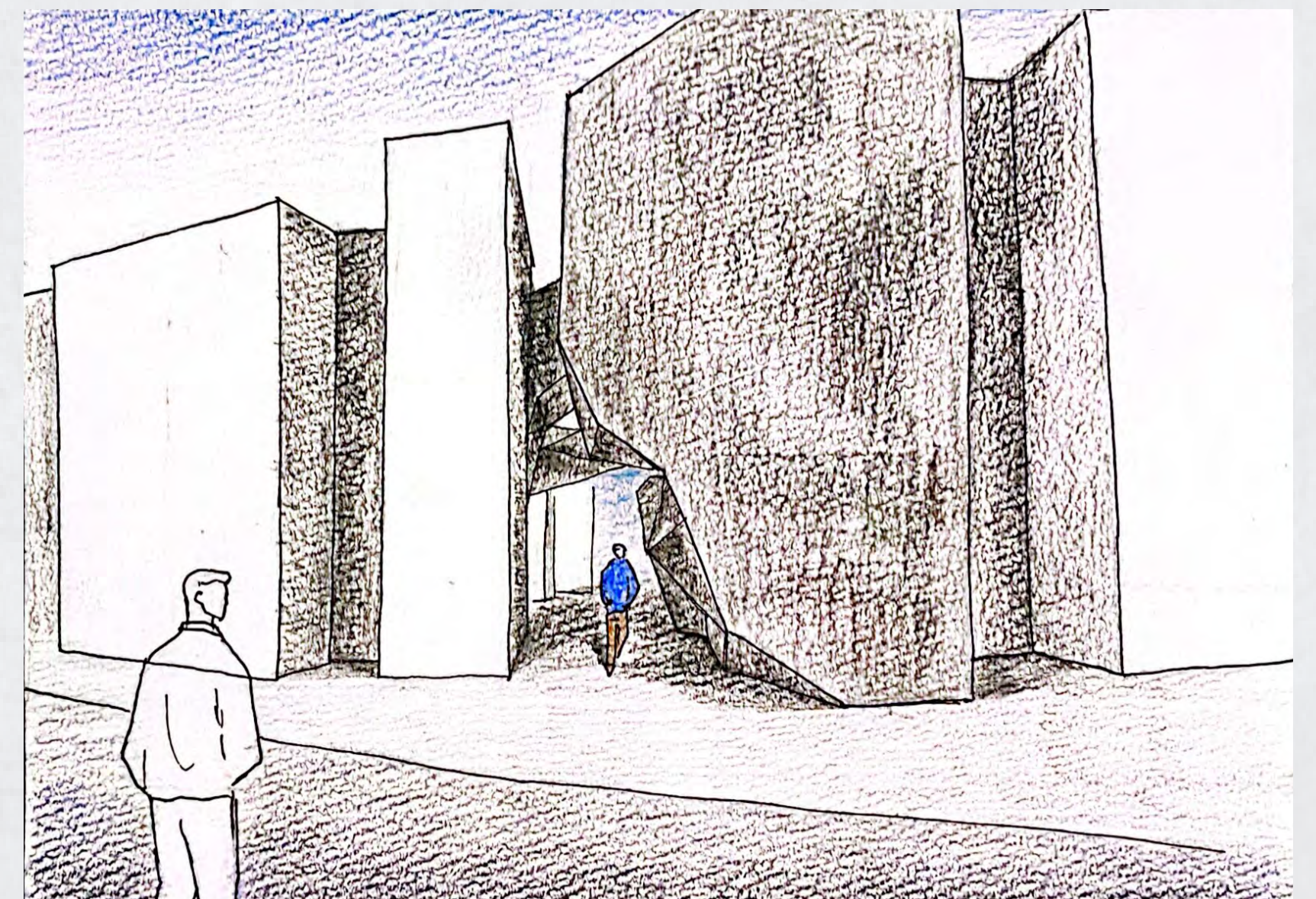
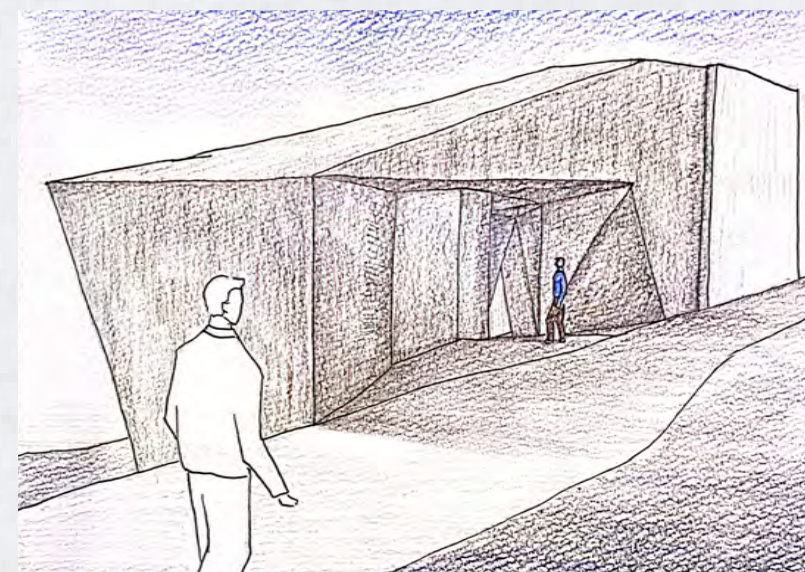
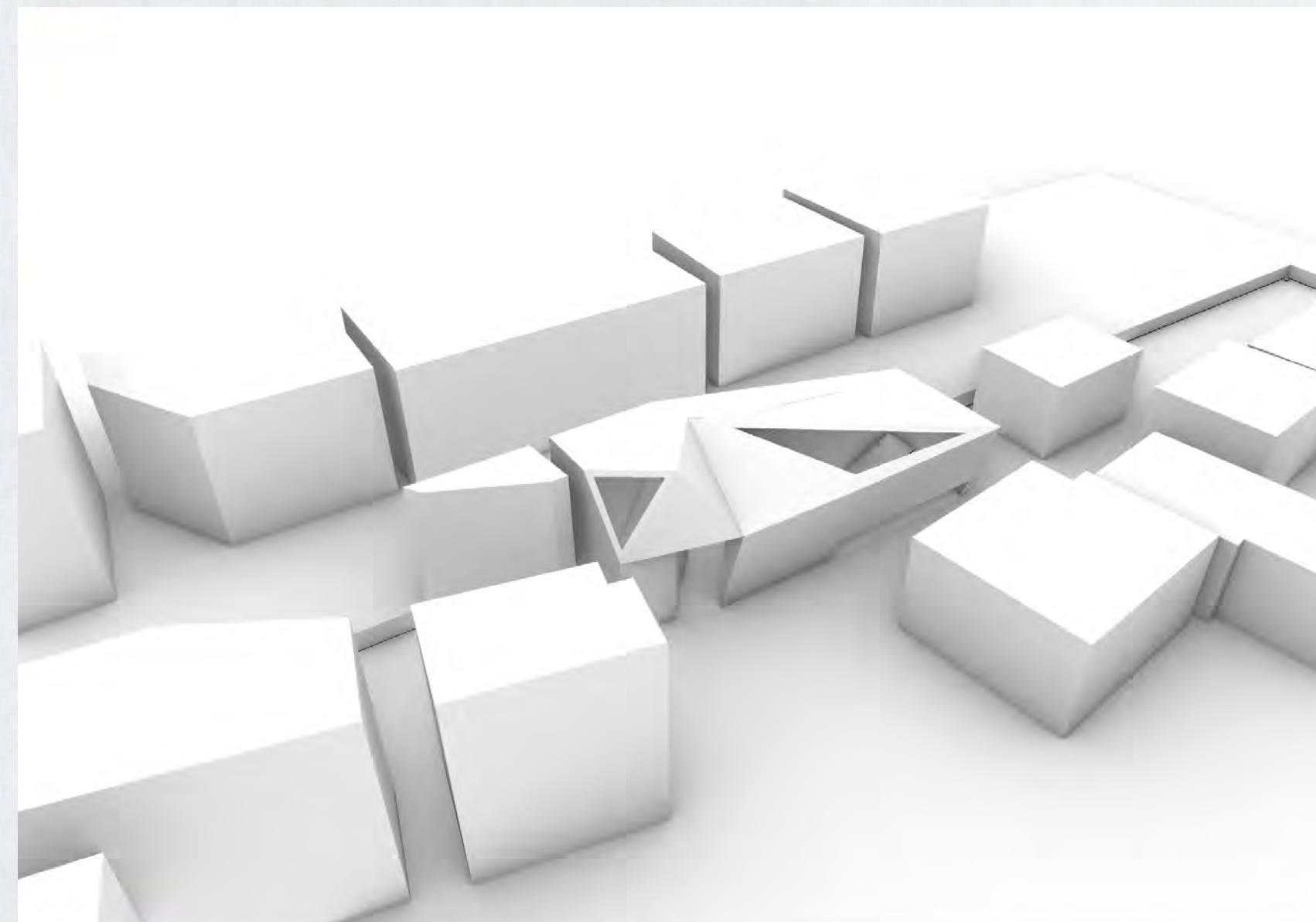
東京都、渋谷区、旧渋谷川遊歩道 Layout S=1:1000

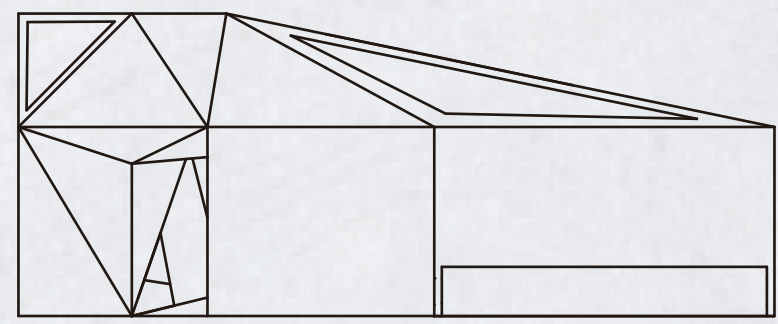


人々の変わりゆく文化はまるで激しい川の流れであり、都市建築はその川の流れに侵食され徐々に形を変えてゆく岩のようである。
人々の文化と記憶を受け止めるグラウンドレベルな建築は、受け止めるが故に削られ、形を変え、現代文化のカタチを示す造形となる。

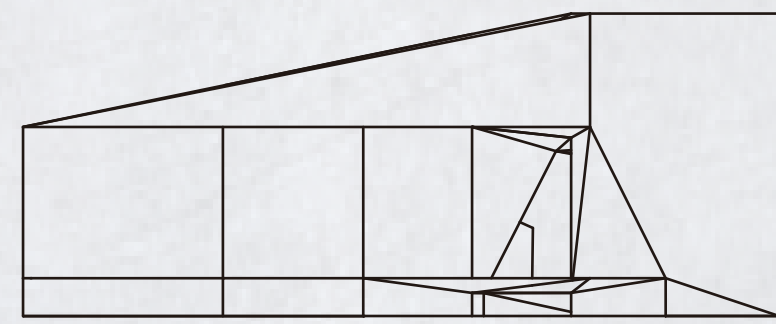
建築は人に侵食されていく。

そうして生まれた場所に人々は、残された文化的遺伝子=ミームとともに滞留する。

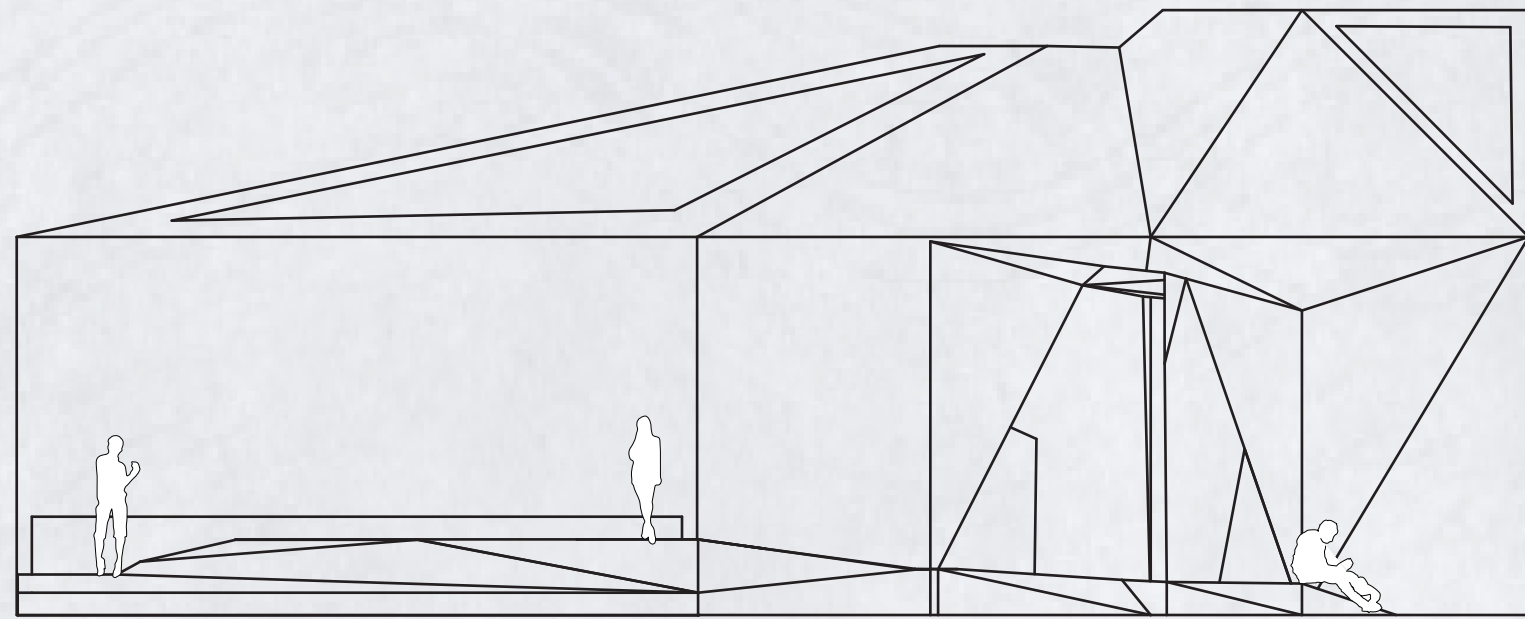




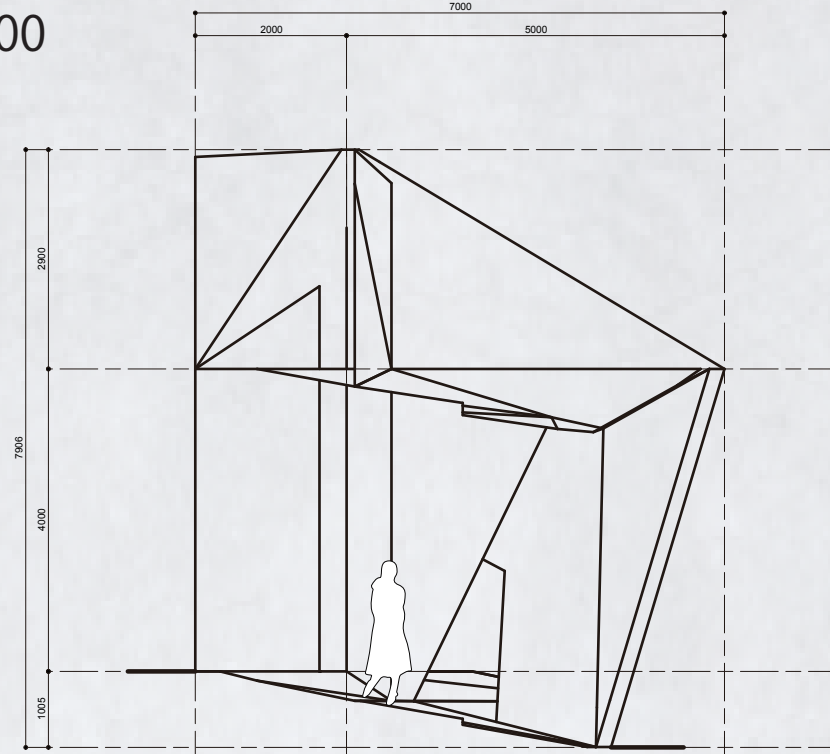
Elevation East



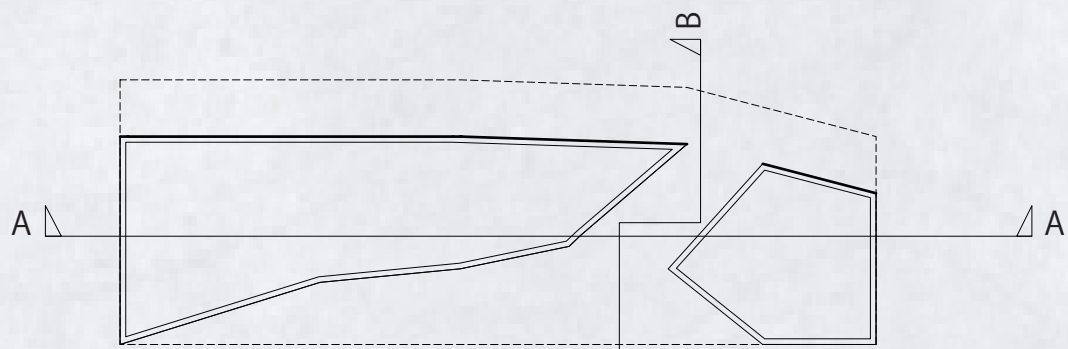
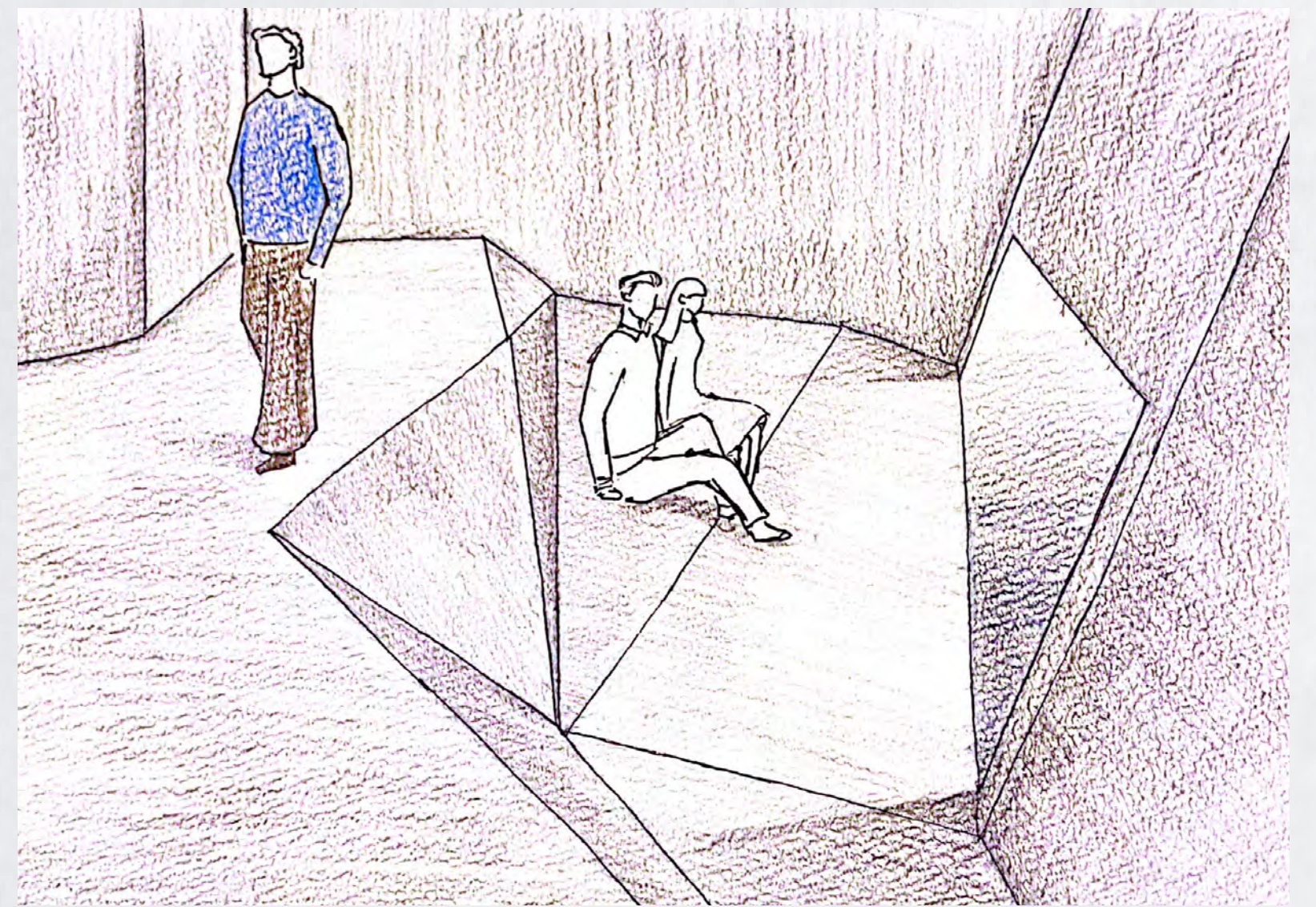
Elevation West S=1:200



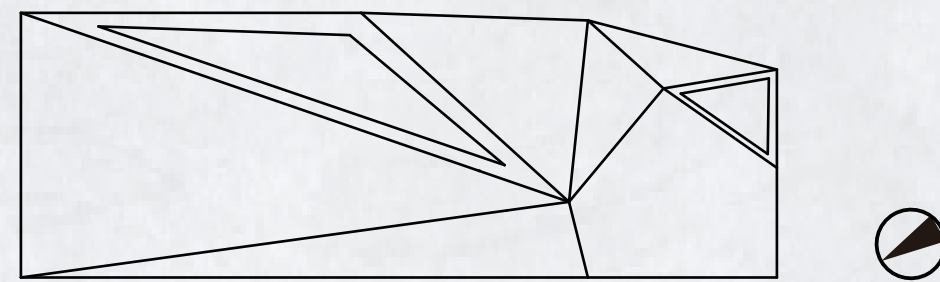
Section A S=1:200



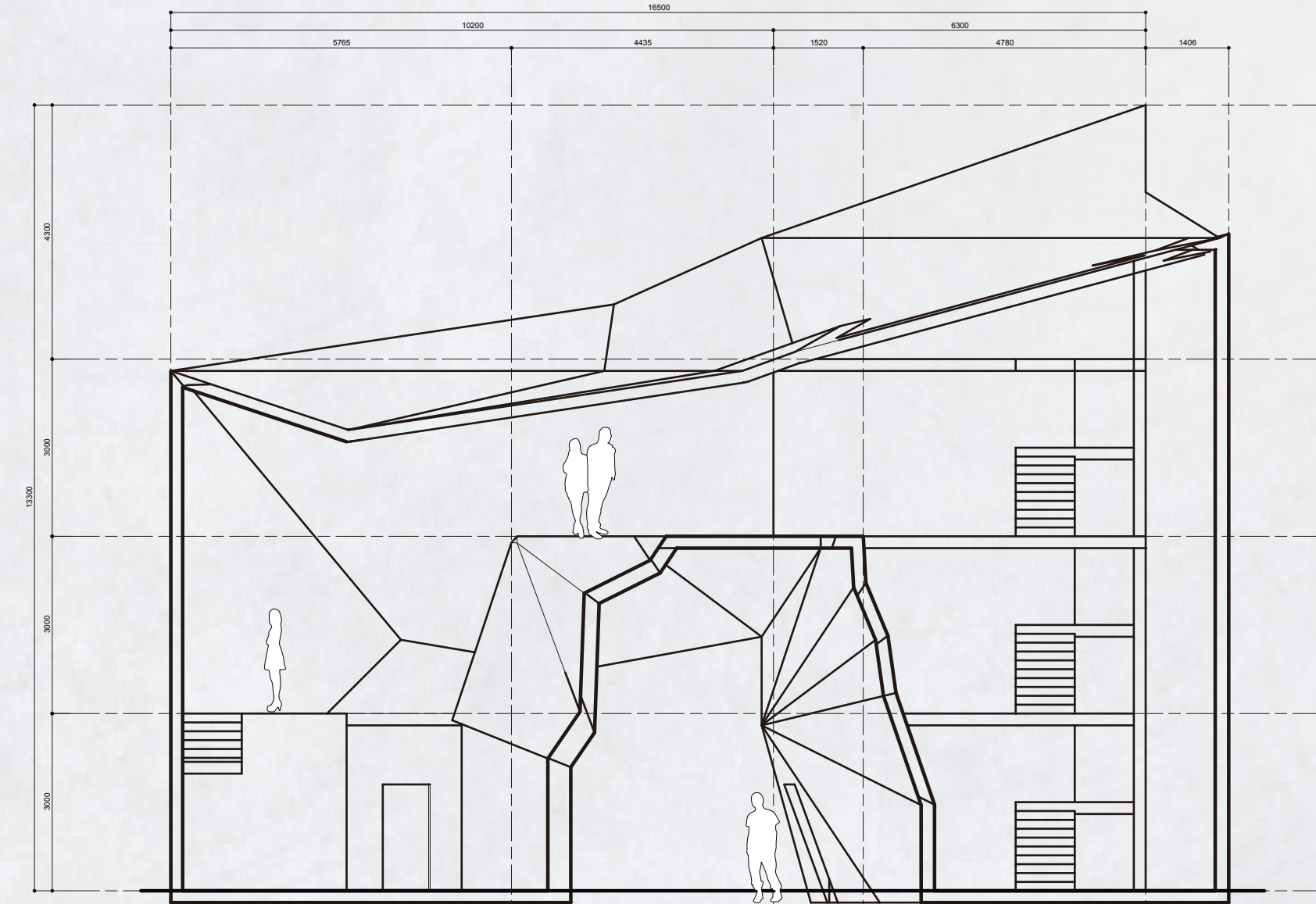
Section B S=1:200



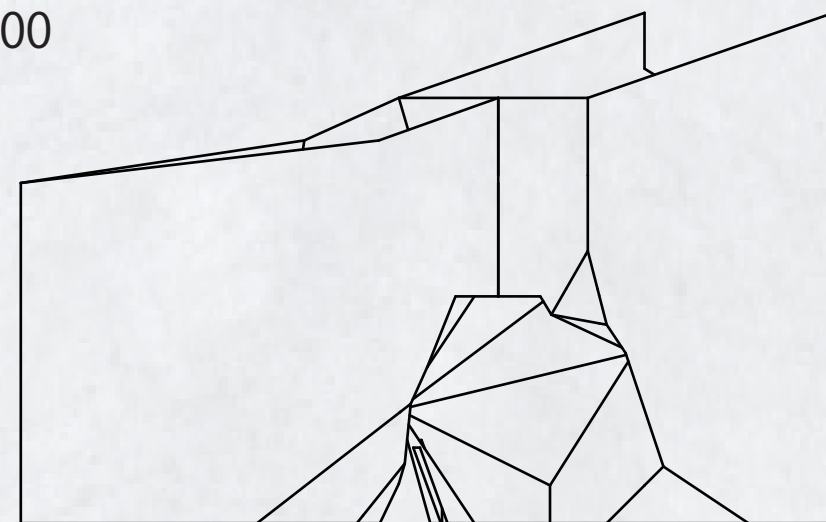
Floor Plan



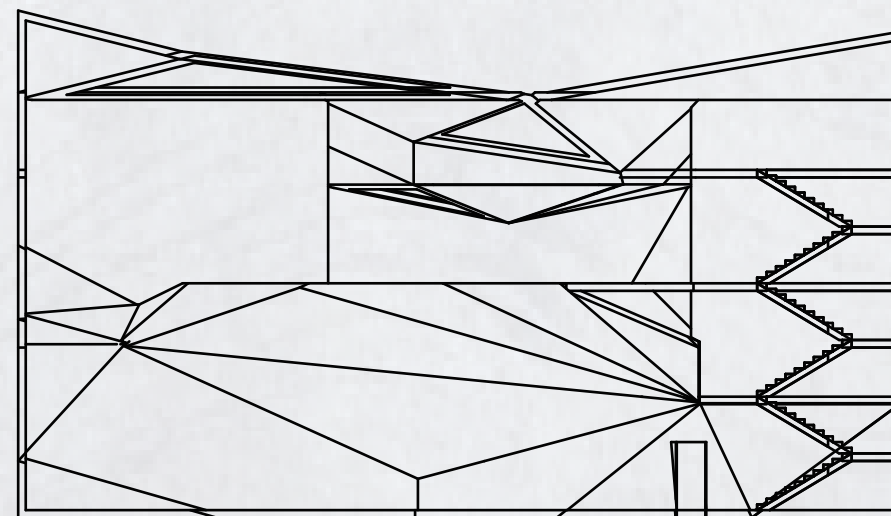
Top View S=1:200



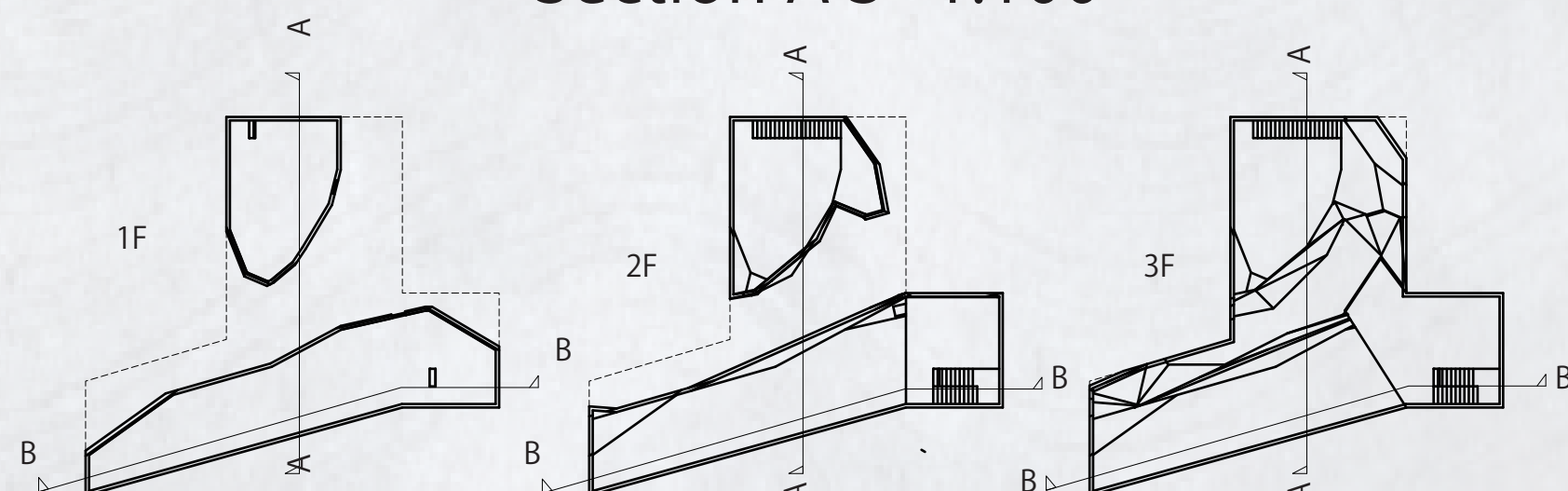
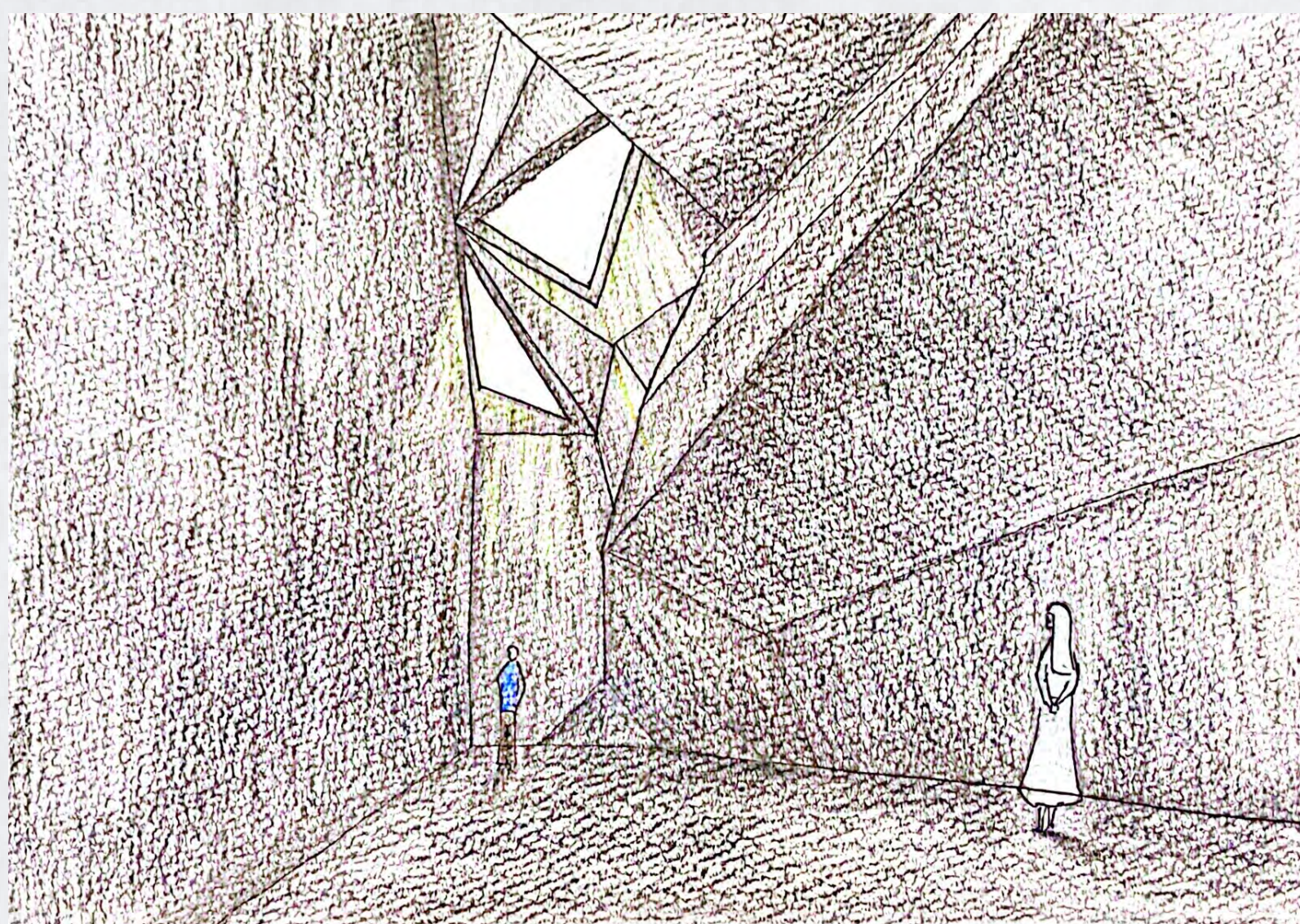
Section A S=1:100



Elevation S=1:200



Section B S=1:200



Floor Plan S=1:400

